



大木町がめざす
循環のまちづくり

大木町の概況

- 福岡県南部筑後平野の中央部、水郷柳川に隣接した農業の町
- 人口約14500人、面積18.43平方キロ
- 掘割が町の面積の14%
- 特産は、苺・シメジ・えのき・花ござなど
- 住民活動が盛ん
あーすくらぶなど



現在の大量消費社会

資源枯渇 環境破壊 気候変動

地球上の限られた資源や自然

次世代と共有すべきもの

モノの豊かさ・便利さだけでは
本当の豊かさは実現できない。

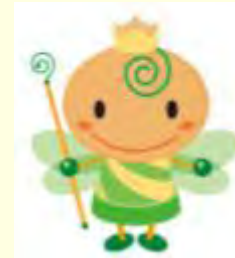


持続可能な社会をめざして

地域資源（再生可能資源）を地域ぐるみで活かす
人・モノ・経済の好循環をつくる。

（循環のまちづくり）

循環のまちをつくる取組み



■ ゴミを出さない(ゼロウェイスト)まちづくり

■ バイオマスの利活用

- 05年2月にバイオマスタウンに認定される。
 - 生ごみ・し尿・浄化槽汚泥をエネルギーと有機肥料に ～大木町有機資源循環事業、
 - 廃食用油が軽油代替燃料(BDF)に
～菜の花プロジェクト



■ 自然エネルギーの普及

■ 太陽光発電の普及

- 地域共同発電所(アクアス・くるるん)の設立
- 町内の小学校全校に太陽光発電設備を設置
- 家庭用太陽光発電設置補助の実施(平成14年～)
 - 家庭用太陽光発電設置世帯数は約4%。



■ 省エネルギー、太陽熱利用の推進

- 太陽熱利用設備補助(10分の1以内2万円上限)
- 省エネ授業・我が家の暮らし応援隊事業



● 大木町もったいない宣言 ●

(ゼロ・ウェイスト宣言)

子どもたちの未来が危ない。

地球温暖化による気候変動は、100年後の人類の存在を脅かすほど深刻さを増しています。その原因が人間の活動や大量に資源を消費する社会にあることは明らかです。

私たちは、無駄の多い暮らしを見直し、これ以上子どもたちに「つけ」を残さない町を作ることを決意し、「大木町もったいない宣言」をここに公表します。

- 1、先人の暮らしの知恵に学び、「もったいない」の心を育て、無駄のない町の暮らしを創造します。
- 2、もともとは貴重な資源である「ごみ」の再資源化を進め、2016年(平成28年)度までに、「ごみ」の焼却・埋立て処分をしない町を目指します。
- 3、大木町は、地球上の小さな小さな町ではありますが、地球の一員としての志を持ち、同じ志を持つ世界中の人々と手をつなぎ、持続可能なまちづくりを進めます。

以上宣言します。

2008年3月11日 大木町議会議決

ごみ処理量は46%の減

ごみ処理量と 数値目標	燃やすごみ			燃えないごみ		ごみ計
	家庭	事業所	粗大	家庭	事業所	
2005年度処理量 (基準年)	2241t	710t	54t	93t	3t	3101t
2007年度処理量	1267t ▼44%	351t ▼51%	35t ▼35%	59t ▼37%	1t ▼67%	1733t ▼44%
2009年度処理量	1234t ▼45%	416t ▼41%	26t ▼52%	7t ▼92%	1t ▼67%	1684t ▼46%

※%は2005年度との比較

環をつなぐ地域社会システム

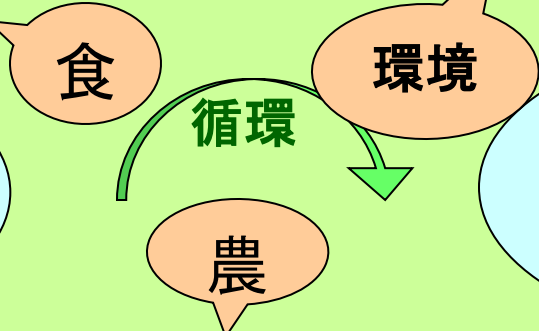


生ゴミの分別
家庭の台所・学校給食で生ゴミを分別



し尿・浄化槽汚泥

地元農産物の供給
バイオガス液肥や堆肥を使った農産物を給食や家庭の台所へ



発酵させ液肥化
バイオガスプラントで発酵させ、バイオガスと有機液肥を回収



液肥の農地還元
バイオガス液肥を有機質肥料として農地へ返す



生ごみ・し尿・浄化槽汚泥を地域資源として循環活用するためには、地域循環を支える社会システムの確立が欠かせない。

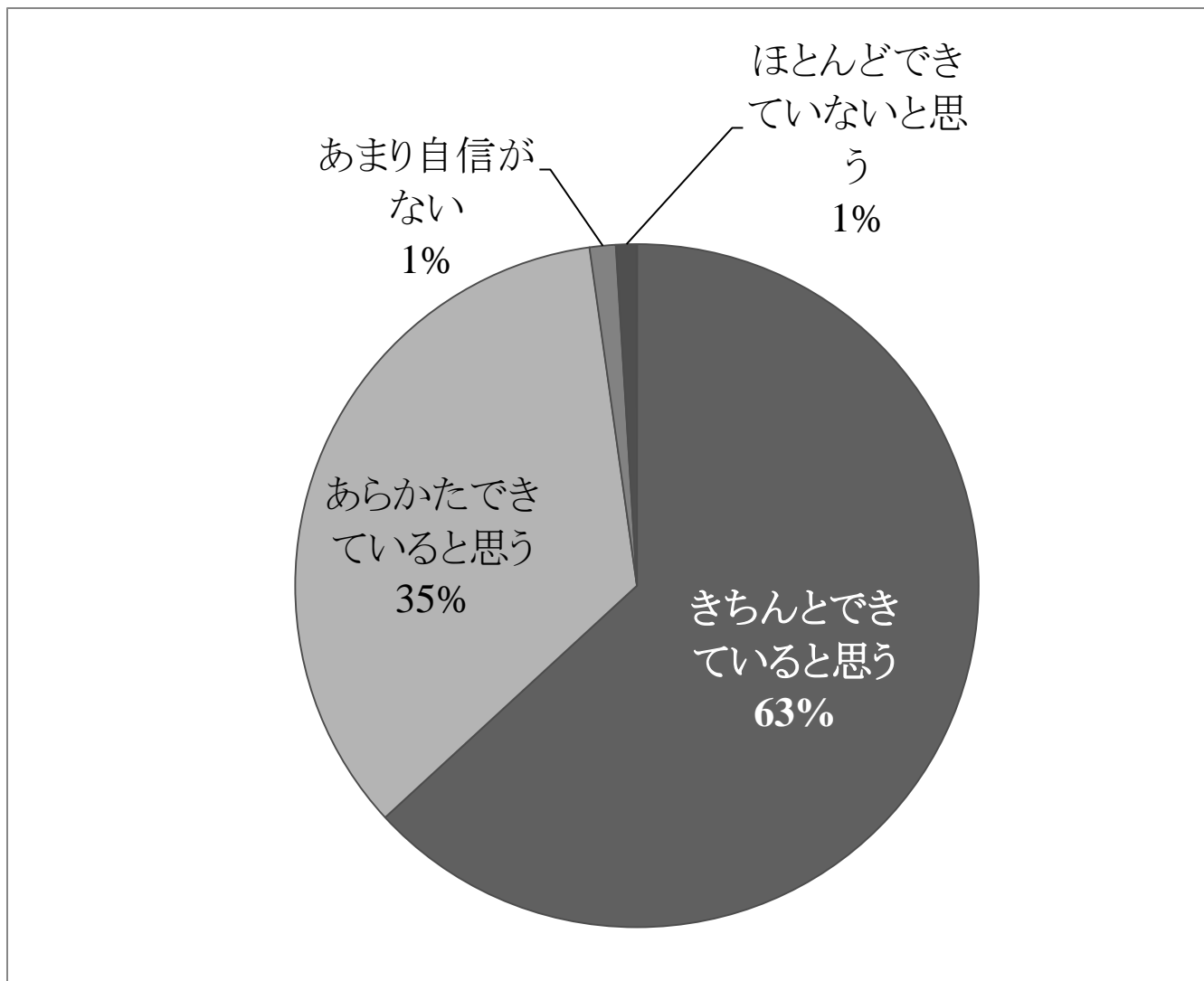
生ごみ分別 平成18年11月から全域開始

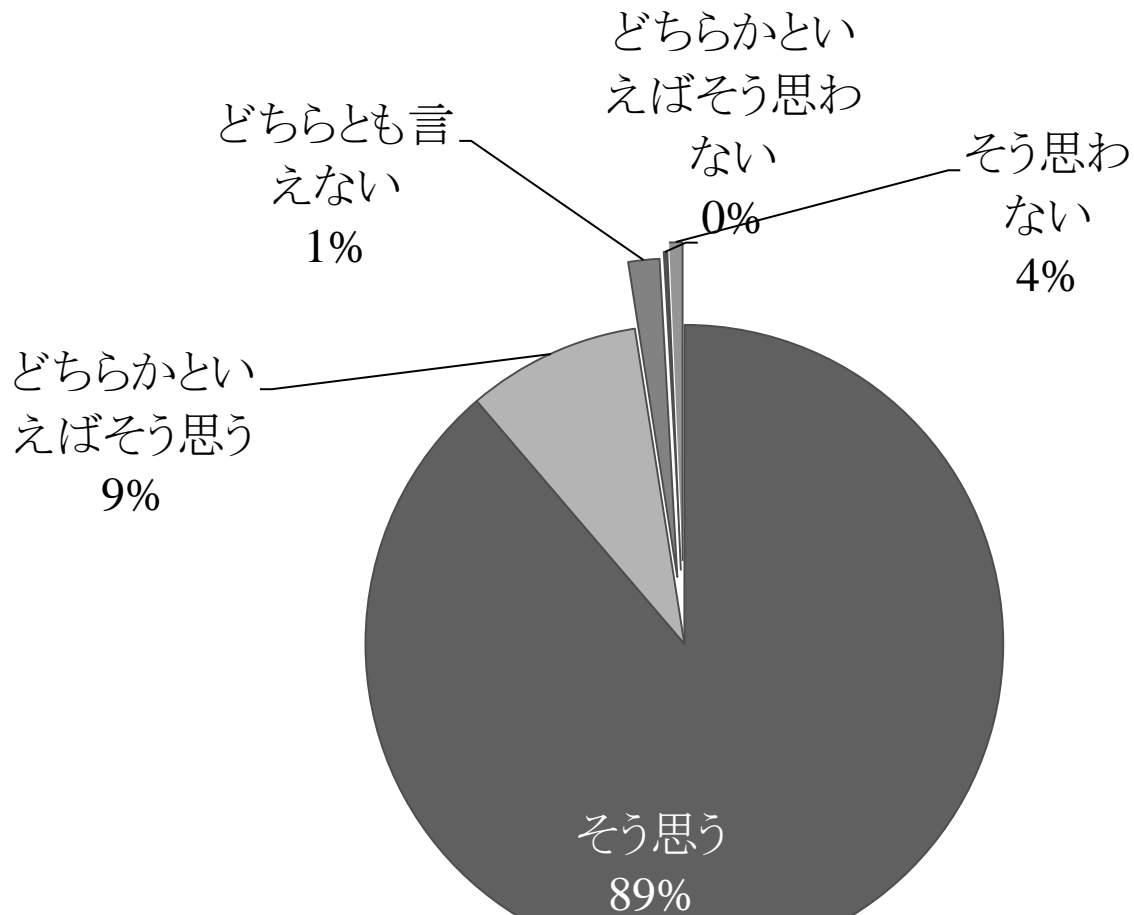
- バケツコンテナ方式による収集
 - 山形県長井市レインボープラン方式
- 毎週2回収集(町内3区域)
 - 前日に収集バケツの配達
 - 祝日も収集
 - 生ごみ処理は無料
- 平成19年4月から
 - 燃やすごみは週1回
- 事業系は10kg当り
 - 30円の処理費

生ごみの分別で燃やすごみが44%減る！

年	月	家庭の 生ごみ	事業系 生ごみ	生ごみ 合計	燃やすごみ の量	H.17年度の 燃やすごみ	H. 17年度比
		t	t	t	t	t	%
H21	4月	58.5	41.1	99.6	154.7	264.2	58.6
	5月	60.6	50.3	110.9	154.9	262.3	59.1
	6月	56.9	40.6	97.5	133.4	247.9	53.8
	7月	63.3	40.5	103.8	154.8	252.0	61.4
	8月	69.2	40.6	109.8	133.0	276.3	48.1
	9月	58.2	46.1	104.3	137.0	254.7	53.8
	10月	59.9	46.7	106.6	146.8	240.9	60.9
	11月	55.1	42.1	97.2	123.5	239.4	51.6
	12月	63.7	43.2	106.9	151.9	258.7	58.7
H22	1月	61.8	38.9	100.7	140.4	248.1	56.6
	2月	54.8	35.8	90.6	116.3	215	54.1
	3月	59.4	35.3	94.7	141.9	245.5	57.8
合 計		721.4	501.2	1222.6	1688.6	3005.0	56.2

生ゴミを分別するとき、自分はどれくらいきちんとできていると思いますか。





これからも生ごみの分別(資源利用)
に協力していきたい。

収集バケツに週に2回出す



生ごみ収集状況



生ごみをくるるんへ搬入



生ごみの投入状況



お湯で収集バケツの洗浄



生ごみを細かく破碎し分別する装置



生ごみ破碎分別装置

高濃度液→

生ごみ破碎装置

A photograph of an industrial facility featuring three large cylindrical tanks. The tank on the left is smaller and mounted on a green metal frame. The middle tank is the largest, with a prominent external staircase. The tank on the right is partially visible. A worker in a green uniform stands on a yellow platform above the left tank. The scene is set outdoors with a paved road and greenery in the foreground.

高温可溶化槽

メタン発酵槽

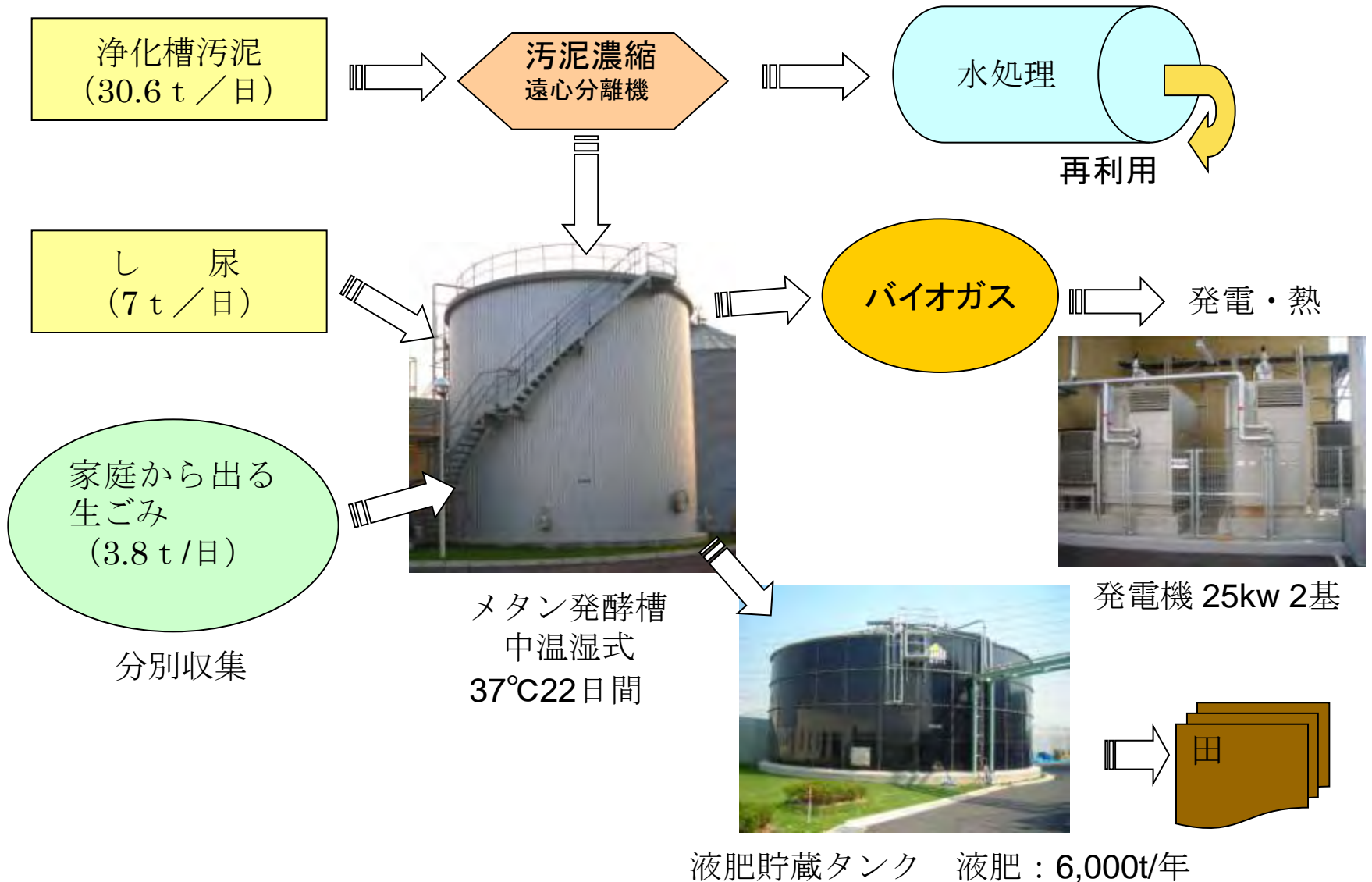
ガスホルダー

発電機：25kw × 2機

発電設備



バイオガスシステムのフロー



バイオガスプラントの特徴

- 完全嫌気発酵なので、発酵途中での臭いがもれない。
- メタンガスを回収し、エネルギー利用できるのでランニングコストが安い。
- 消化液を液肥として活用することで、メリットが倍増する。
 - 水処理のイニシャルコストやランニングコストが削減できる
 - 液肥を資源として活用できる

バイオガスプラントは、消化液を肥料として活用することでメリットが大きくなり、イニシャルコスト・ランニングコストも大幅に削減されます。今後急速に普及すると思われます。

バイオガス液肥 (くるっ肥)を活用する

- 年間約6000tの液肥を生産
 - 水稲・麦など土地利用型の作物に使用。
 - 水稲・麦 5t~7t/10a
 - 散布面積 それぞれ約50h
 - 液肥散布車や流し肥え方式による散布
- 普通肥料登録として認可
- 液肥代＝無料
- 散布料 1000円/10a
(当面は農家との共同研究)
- 液肥利用の課題
 - 貯留と運搬・施肥方法の検討
 - 成分調整と栽培技術(施肥基準など)の確立
 - 臭いはあまり気にならない

分析項目	含有量
リン酸	0.12%
カリ全量	0.11%
全窒素	0.25%
アンモニア態窒素	0.13%



290キ9

平成18年度
バイオマスの環づくり交付金事業

ESOR

おおき循環センター



くるるん米「環のめぐみ」

- くるっ肥を使い、福岡県減農薬減化学肥料栽培基準で栽培
- 環境保全型特別栽培米として、町民の皆さんには低価格で優先販売



おおき循環センターは町づくりの拠点

- 生ゴミ・し尿・浄化槽汚泥をバイオマス資源化する施設
 - 町の中心部・国道バイパス沿いに設置
 - 町民はいつでも見学できる
- 環境・農業・食をつなぐ まちづくりの拠点
 - 循環社会や環境についての学習
 - 自然エネルギー体験
 - 地域農業の振興
 - 地産地消・安全な食の提供
 - 農業体験
 - 地域住民のにぎわい
 - 都市との交流

道の駅 おおき 平成22年4月オープン



バイオマスセンター

地産地消レストラン
デリ&ビッフェくるるん

農産物直売所
くるるん夢市場

道の駅おおき
インフォメーションセンター

国道442号バイパス



おおき循環センター

くるるん

ホームページアドレス

<http://kururun.jp>

E - メール

ooki-jinkan@earth.ocn.ne.jp